

八戸市自動車運送事業経営戦略（改定案）に係るパブリックコメントの実施結果について

1.実施期間 令和7年6月2日（月）～令和7年7月1日（火）の30日間

2.意見提出件数 1件4項目

3.ご意見の概要及びご意見に対する考え方

No.	意見内容（概要）	市の考え方
1	<p>運転士の確保について／運転士の勤務形態について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は早番、中休、遅番ダイヤのシフト制で不規則であるため運転士を目指す方の大きなハードルになっている可能性がある。 ・早番固定や遅番固定などの時間帯を固定した勤務形態を選択できるようにするのはどうか。 ・実働時間や拘束時間が通常より少ないダイヤを設定し、短時間勤務を選択できるようにしてはどうか。 ・以上のようにすることで、運転士を目指したい方のハードルを少しでも下げることができると思う。それが結果として運転士の採用増につながって欲しい。 	<p>運転士の確保に向けて、いただいたご意見を参考に、具体的な方策等を検討していきます。</p>
2	<p>バス車両の更新について／車両の配車・導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の通勤通学時間帯は利用者が集中しており、もし路線の減便が行われた場合、1台当たりの乗車人数が増加し、乗せ残しが発生する可能性がある。その場合、他の交通手段に流れ、利用者数の減少に拍車がかかる。 ・そこで今後のバス車両は大型車を中心に導入していくべきだと思う。 ・2024年問題により続行便を頻繁に出すことは困難である。 ・一方で種差線は利用者が少なく、朝以外は数名しか乗車しないことが多いため、コミュニティバスで採用されている小型車を種差線専用として導入し利用に見合った運行をしていくべきと思う。 	<p>バス車両の更新にあたっては、バス利用状況を踏まえて導入車両を検討していきます。</p>
3	<p>運送収益について／福祉乗車証利用者の運賃負担について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後運送収益を確保するためには、福祉乗車証利用者の運賃負担が必要だと思う。 ・現状では年間利用料を負担するだけで、乗車時は無料となっているが、他の公営バス事業者の割引制度を調べてみると、障がい者は運賃を無料とするところが多いが、高齢者は運賃を無料としているところは少なく、運賃を一部負担してもらおうところが多くなっている。ただし、年間の利用料がないため運賃を無料としていない可能性はある。 ・ほほえみ乗車証は今後も無料でもいいと思うが、はつらつ乗車証は年間の利用料を高くするか、もしくは年間の利用料を廃止する代わりに1乗車100円程度の運賃を支払ってもらう制度にするなどの対策が必要だと思う。 	<p>運賃水準を検討する中で、いただいたご意見を参考に、具体的な方策等を市関係課とともに検討していきます。</p>
4	<p>その他意見／金額式定期券の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金額式定期券では購入した運賃設定を超える区間まで乗車した場合に差額を支払うもの。さらにバス事業者によっては、他社のバスでも乗車可能なところもある。 ・例えば本八戸駅から市民病院まで乗車する際に市営もしくは南部バスのどちらでも乗車することができ、待ち時間の短縮やバス車内の混雑の解消につながる。 ・また、中心街で乗り換える場合、区間運賃の高い方の金額で購入すれば定期券を複数持つ必要がなくなる。 ・このようにメリットが複数あり、全国のバス事業者でも導入するところが増えてきているので、ぜひ検討していただきたい。 ・八戸駅から中心街までの区間は共通定期券として購入できるが、金額式定期が導入されるのであれば共通定期券は廃止にしたいと思う。 	<p>運賃水準を検討する中で、いただいたご意見を参考に、市内を運行するバス事業者等の関係機関とともに検討していきます。</p>